

このページはボランティアの市民の方が取材・作成しています

あまっ子はるっ子 ふあみさぼセンターの

『おたすけ会員養成講座』

に参加してきました!



安心して子育てができる環境づくりを目標に「子育ての手助けをしてほしい」「子育てのお手伝いをしたい」と、思っている方が会員になり助け合いながら活動する組織です。

対象:生後6か月～小学校6年生以下 ※有償ボランティア

6月中旬に開催された全24時間(5日間)の講座を受けました。最新のお手本内容に少し不安を覚えたのが正直なところですが、皆様にも役立つ情報をご紹介したいと思います。

『現代の育児事情と子育て支援の必要性』 講師:川原 史子 氏(NPO法人ママ・ぷらす代表)

現代ママは社会に出て、自分の価値観を見定めて子育てに向かう方も多く、ストレスも溜めやすい。情報過多のうえ、周りが気になったり、完璧を求める傾向も…経済的に働く必要性もある。思うようにいかないのが子育て「大丈夫だよ」って、やさしく声を掛け、悩みを聞いてあげるママの応援者になってください。



『こころの成長』 講師:木村 美知代 氏(元大学教授)

子ども主体の遊びが学び 自らの経験から、他者との関わりを学ばせる。周りの大人はケガをしないよう見守る程度で、じっと我慢。転んだら、自分で立ち上がらせる。喧嘩をしたらお互いに話し合って解決する方法を学ばせる。月齢によって対応は違いますが、少子高齢化、温暖化、経済不況など、生きにくい社会に負けない、アイデアを創出する人材育成が必要とされている。



『発達障がいについて』 講師:海部津島キャラバン隊 Puzzle

「みんなちがって みんないい!」をスローガンに、発達障がいについての基礎知識を学びました。周囲からの偏見に悩みながら、子育てに奮闘されているメンバーの明るさに頭が下がります。後半で紹介された絵本『ひびわれ壺』のお話やご本人の体験談には、とても感動しました。

その他

- ・食事と栄養:離乳食・アレルギー対応・バランスの良い食事・朝食の重要性など
- ・関わり、接し方:手遊び、身近なものを使った遊び、絵本の紹介など
- ・身体の発育と小児看護の基礎知識 ・けが、病気の基礎知識
- ・海部東部消防職員による、乳幼児の救命救急指導
- ・JAFの職員による、チャイルドシートの取付け講習

【問合先】あま市・大治町広域ファミリー・サポート・センター事務局
市役所甚目寺庁舎 子育て支援課内 ☎462・0150



■編集後記■

4月に2人目の孫が産まれたこともあり、参加しました。その時代にあった子育てがあるんだろうとは思いますが、子どもへの愛情は変わらないものです。子どもの笑顔は宝物です。地域の宝をみんなで見守りたいですね♥

by 市民記者 あみゆ

